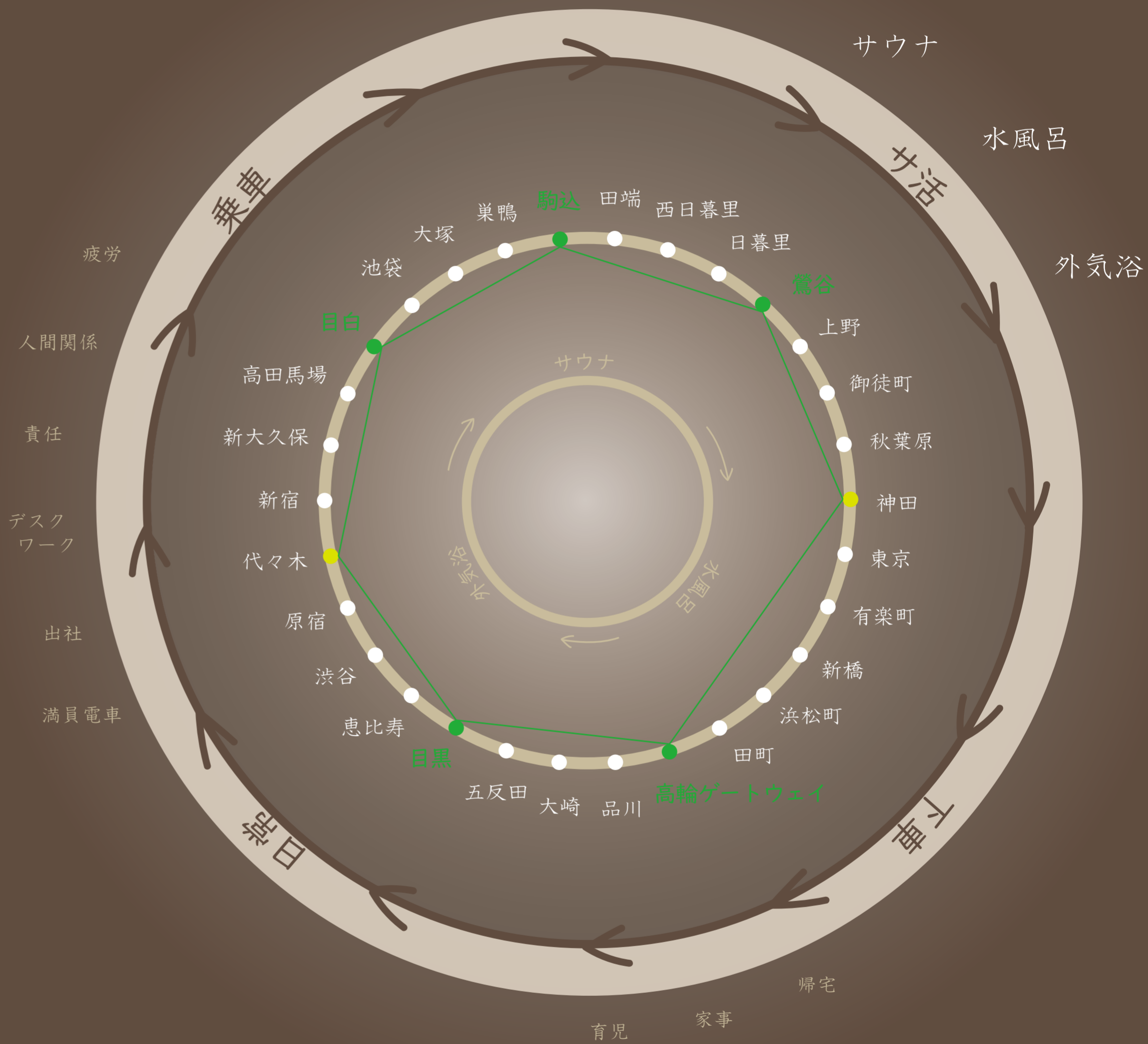




電車ならではのこれら感覚体験を、  
 東京の中心を周る山手線にて特別なサウナ時間の要素として丁寧に還元する。  
 この電車が多くの人々の日常に溶け込むことで、サウナでの心身のとのえは  
 新たな生活のサイクルの一部として自然と組み込まれることとなり、  
 山手線ユーザーの心身の健康の促進だけでなく、  
 山手線と関連する各駅のさらなる活性化とサウナ習慣の定着を目指す。

サウナ用語として先行しすぎてしまっているとのうという言葉。  
 それは本来、乱れていたものがあるべき場所へ戻すというように、  
 私たちが心身健やかに生きていく為、無くってはならない過程を表す言葉であると言える。  
 流れる景色、揺れ、音。



山手線に乗車し、とのえませんか？

サウナの効能 心身共に疲れを癒すことのできるサウナは、現代を生き働く多くの人々の持つ様々な悩みに回復効果がある。

脳の疲労	病気の予防・改善	自律神経の安定	汗をかく	眼精疲労	冷え性改善	肩こり腰痛	美容効果 ダイエット	決断力 集中力 ひらめき	良質な睡眠	血行がよくなる	免疫力
------	----------	---------	------	------	-------	-------	---------------	--------------------	-------	---------	-----

### 対 利用者

サウナで心身をとのえることをを日常のサイクルに組み込ませ、活力を生む。

### 対 サウナ

サウナを利用しやすく身近にしながらも、特別な時間体験を提供し、人々への浸透を促す。

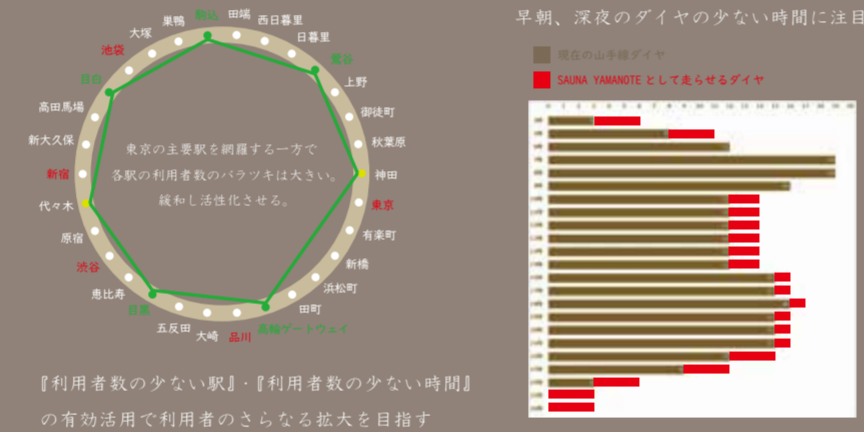
### 対 山手線

駅ごとの利用者数のバラツキや時間帯によるダイヤの違いに焦点を当て、活かすことで山手線の利用者を増加させる。電車時間の価値や魅力を再発見してもらう。

## サウナ × 山手線が 新たな相互作用を生み出し それぞれに還元する

### 山手線の注目点

- 1 周約 60 分、東京をまわる環状運転であること  
見慣れてしまった流れる都会の景色をじっくりと眺めることは少ない。  
日常に組み込まれた電車時間は隙間時間と捉えられ、電車時間そのものに価値を見出すことは少ない。
- 公共交通機関ならではの IC の普及や予約システム
- 駅や時間ごとの利用者のバラツキがあること



## 計画の実現に向けての技術の応用

### 水の循環システム

災害時などで使用される屋外シャワーに用いられている、水を循環・再生させる技術を応用することで、電車内という回り続ける限られた空間におけるサ活に必要な不可欠な大量の水供給を、98%以上の水を再生することで可能にする。

使用場所  
シャワー室、水風呂

### セキュリティーの電子化



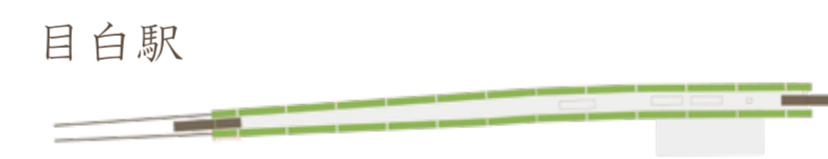
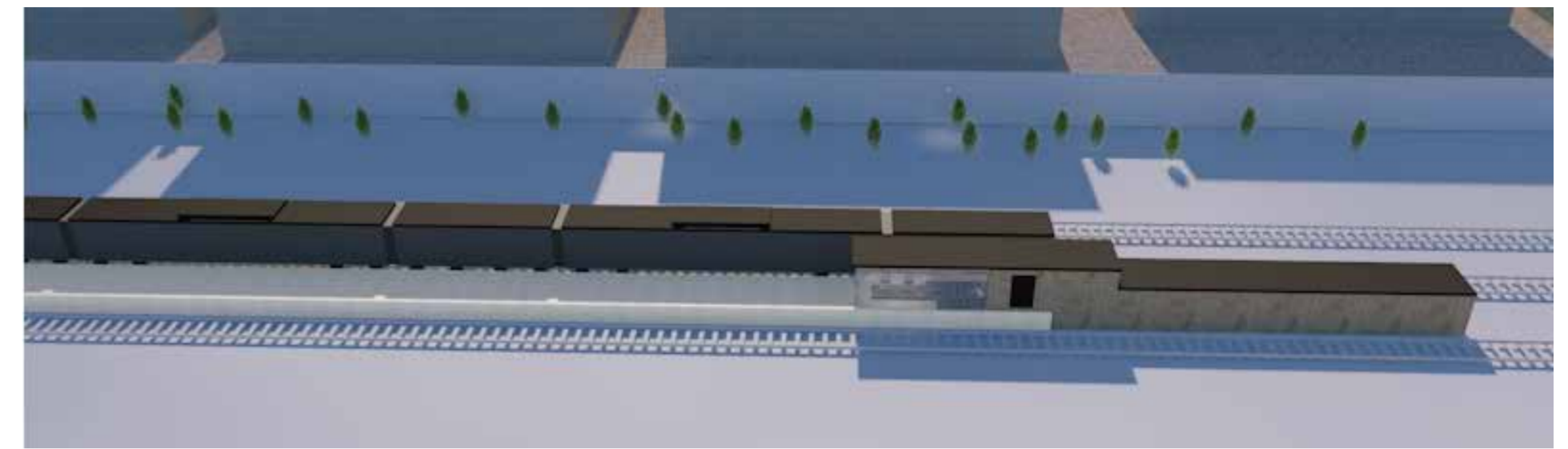
### 乗車方法

新幹線や特急券と同じように、インターネット上や券売機で予約。価格は90分まで(1周と数駅)と90分以降で変動、利用後に清算される。紐づけられたICカードがそのまま入場券となる。定員120名(男性60,女性60)

車内入場時のドアロック、ロッカーの使用などは各々交通機関で利用しているICカードやスマートフォンが鍵として機能する。ロッカー内に専用ICバンドを用意し、サ活中はそのバンドが電子キーとして機能する。

一周に1度、大崎駅付近の車庫、東京車両センターにて5分ほど停車し、使用済みレンタルタオルの回収やごみの回収を行う。

### レンタルの回収や電車内の整備



### 拠点の役割

サ活の充実を目的とした場とサービスの提供により、駅の利用者を増やす。

- 利用者数が少ない駅であること
- 30 駅の中でバランスよく配置されていること
- 利用者数が特に多い5つの駅と10分以内の距離に位置すること
- 山手線の上下線が同一ホームの左右に位置していること

これらを踏まえ、5つのサウナ拠点駅と2つのサブ拠点駅を設定。

### 拠点駅

更衣室・大浴場  
レンタルセット・サウナ向けドリンクの販売

### サブ拠点駅

レンタルセットと、サウナ向けドリンクの販売



## 拠点コンセプト

利用者、ホーム、電車、線路を緩やかに繋ぐ



●各空間名称及び詳細



**解** 飾り、重ねた身なりと共に心の緊張を解いていく

**清** 積もった汚れだけでなく、疲労も流していく

**温** 何を考えるでもなくぼんやり、熱に包まれる時間を過ごす。都会の景色、電車の音や揺れ全てが薄暗い空間の中、ただただ心地よく流れていく。



**静** 月光のような冷たい光の中、身体の熱が冷めていくのを感じながらだんだんと感覚が研ぎ澄まされて電車の音が響き始める。

**整** 温冷浴後のくらくらする身体をpk24に委ねる。自然と目を瞑ると、研ぎ澄まされた身体が電車の揺れや音を特に心地よく感じる。

**安** ゆっくりじっくり、電車を降りる心身の準備をする

●図面各種と導線計画



円滑なサイクルを促すための適切な空間の確保と2つの導線、内部での活動イメージ

電車空間を構成する3つのコンセプト

てすり

安心、安全な乗車体験のために  
必要不可欠な『てすり』  
それを“機能的な存在”に  
とどめず“空間の魅力”として  
活用し反映させる

開と閉

都市を回る公共空間  
だからこそ、  
外と内の開放と閉鎖のバランスを  
心とリンクさせ  
居心地のよいものにする。

感覚体験

あたりまえになりすぎてしまった  
電車の揺れ、サウンド、流れる景色  
それらの魅力を引き出す  
乗車体験を提供し再発見させ、  
日常に価値のあるものとして還元する。

様々な動作に寄り添う



空間を緩やかに分ける



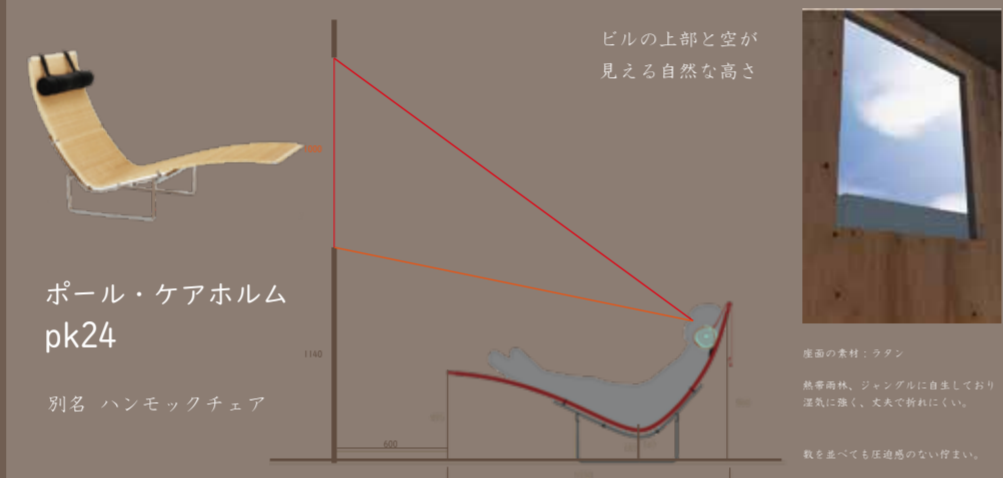
瞬間調光ガラス

通電によって透明、不透明を切り替えることができるガラス。

- 発車中は透明にし、大きな窓に切り取られた景色を楽しむ
- 駅停車時、他車両並走時には不透明にし、サ活の邪魔をしない、最小限の情報のみ映し出す



列車の速度に応じて切り替えることで、外部との適切な距離感、繋がりを生む。



照明計画

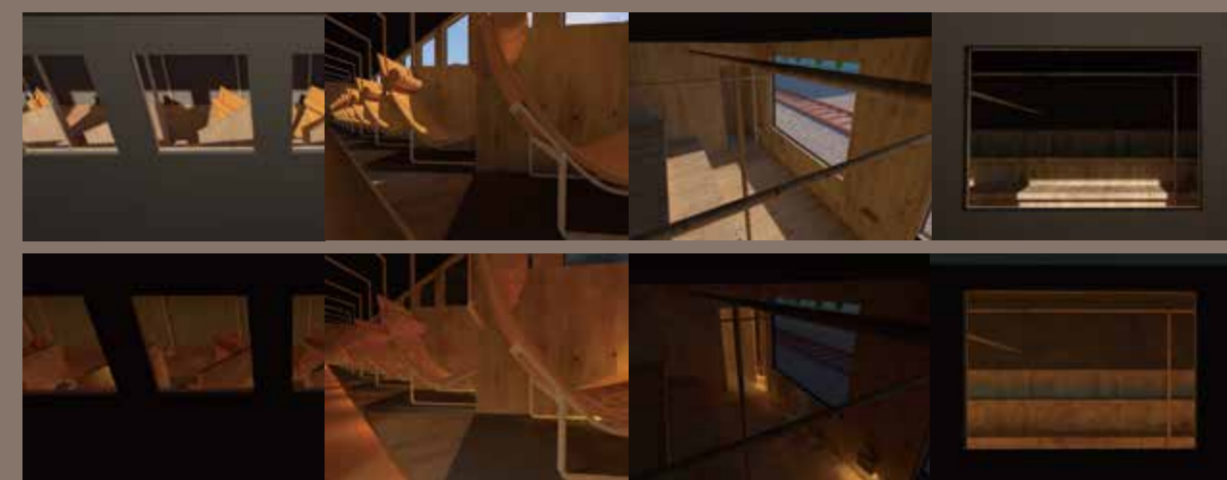
冷

明

光計画分布表



昼→夜の変化



昼夜共に必要最低限の照明にすることで心が研ぎ澄まされ、落ち着かせる空間に

車窓からの景色



道と道の立体交差・俯瞰



開発風景



にぎやかな都市風景

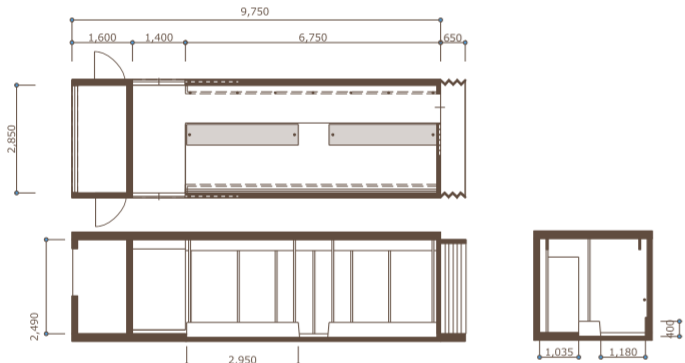


こんなところに川

いつも見ているようで、見過ごしてしまっている風景の例

各車両

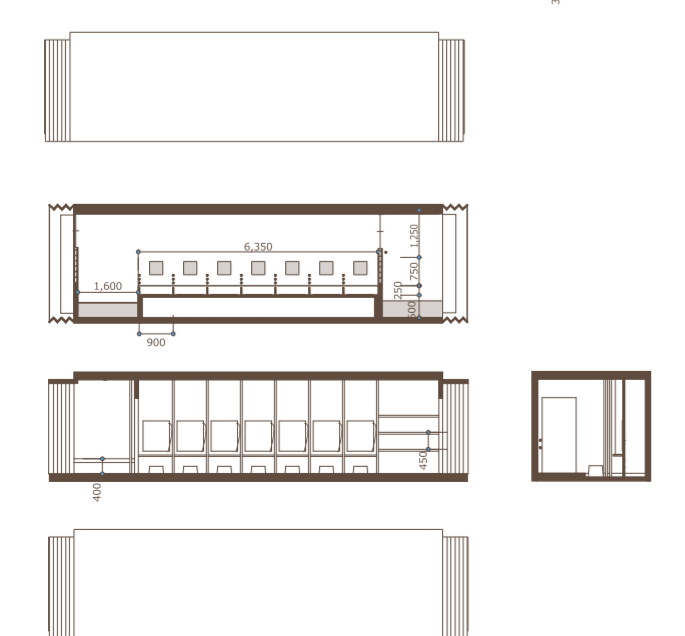
安



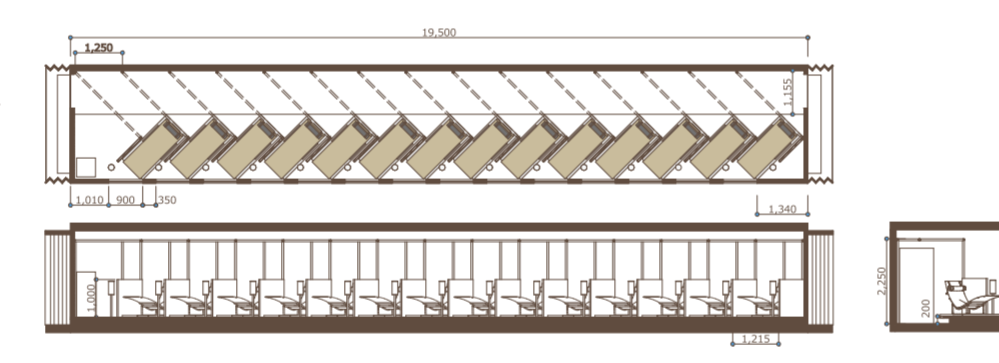
静



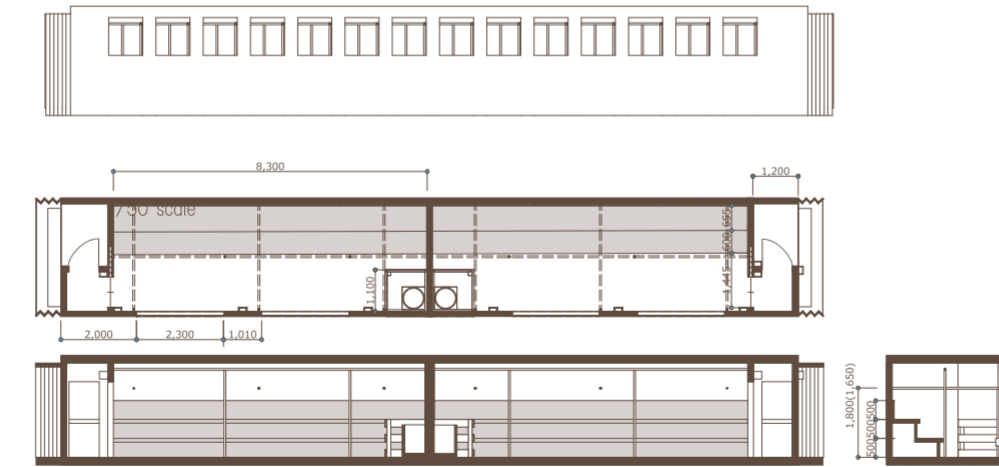
清



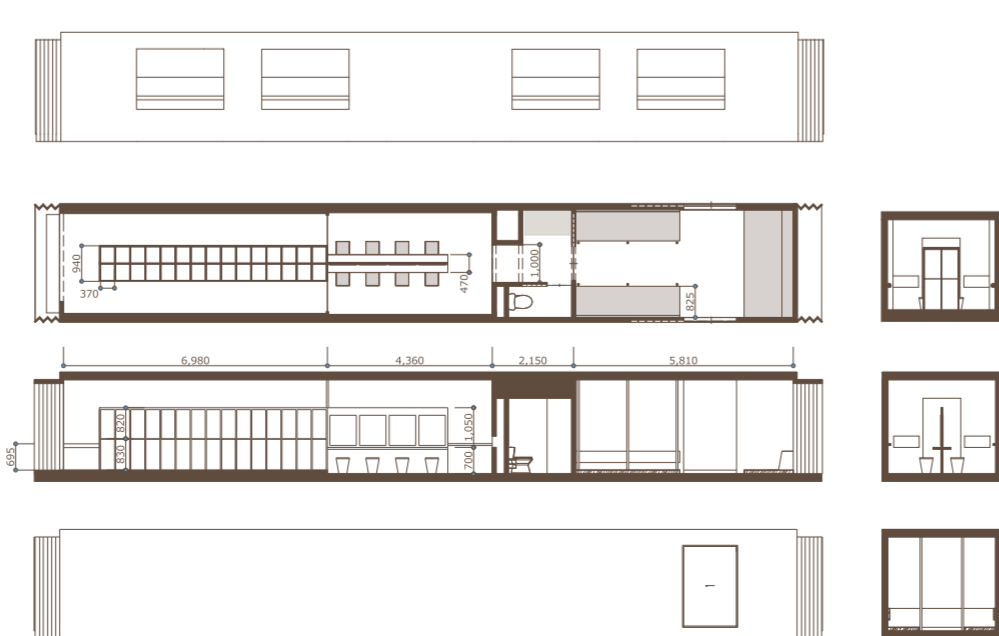
整



温



解・安



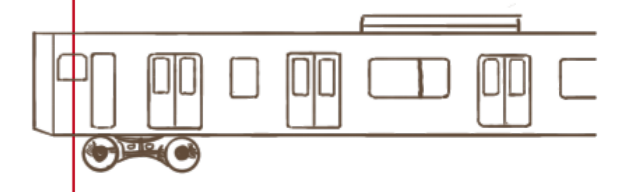
駅拠点

平面図・断面図・立面図



1/200

既存の山手線の運営に影響を受けないホームの前後に設置



1/200